

節湯水栓の流量不足に対する不満

節湯水栓の仕様にご満足いただけず「流量が少ない」とご指摘いただく場合があります

台所水栓・浴室シャワー水栓などで湯水を使用する際に節湯水栓を採用された場合「流量が少ない」とご指摘いただく場合があります。

省エネ基準で定める節湯水栓（A1、B1、C1）は、気持ちよく使用できる流量は確保されたまま基準を満たしています

平成25年に新しい省エネルギー基準である「エネルギーの使用の合理化に関する建築主等及び特定建築物の所有者の判断の基準（以下、住宅・建築物の省エネ基準という）」が定められ、“節湯水栓（節湯A1、B1、C1）”の基準が定義されました。この基準のうち、例えば節湯B1（小流量吐水機構を有する水栓）は、少ない流量で快適にシャワーを浴びる性能を満足するため、シャワーの吐水力に着目し基準が設定されていますが、シャワーの流量を強制的に少なくする機構を備えることを要求しているわけではありません。

基準名	住宅・建築物の省エネ基準	住宅事業建築主の判断の基準
節湯水栓の定義	「住宅・建築物の省エネ基準」にて定められた節湯水栓の構造を有するものまたは適合条件を満たすもの	（一社）日本バルブ工業会にて定められた節湯水栓のモニター方法にて、削減基準を満たしているもの
節湯種類と効果	手元止水機構 (節湯 A1) 台所水栓:9%削減 浴室シャワー水栓:20%削減	(節湯 A) 台所水栓:9%削減 浴室シャワー水栓:20%削減
	小流量吐水機構 (節湯 B1) 浴室シャワー水栓:15%削減	(節湯 B) 台所水栓:17%削減 浴室シャワー水栓:15%削減
	水優先吐水機構 (節湯 C1) 台所水栓:30%削減 洗面水栓:30%削減	
	(節湯 A1) (節湯 B1) 浴室シャワー水栓:32%削減	(節湯 AB) 台所水栓:24%削減 浴室シャワー水栓:32%削減
	(節湯 A1) (節湯 C1) 台所水栓:36%削減 (節湯 C1) (節湯 B) 台所水栓:41%削減	(節湯 A1) (節湯 C1) (節湯 AB) 台所水栓:47%削減